

# 各会計予算

	29年度	28年度	増減額	増減率
一般会計	328億6,000万円	329億1,400万円	△5,400万円	△0.2%
特別会計	158億6,502万円	165億9,976万円	△7億3,474万円	△4.4%
国民健康保険特別会計	78億8,846万円	78億265万円	8,581万円	1.1%
後期高齢者医療特別会計	5億1,133万円	4億7,872万円	3,261万円	6.8%
下水道事業特別会計	13億3,680万円	14億2,517万円	△8,837万円	△6.2%
公共用地取得事業特別会計	1,479万円	199万円	1,280万円	643.2%
介護保険特別会計	60億6,788万円	61億2,899万円	△6,111万円	△1.0%
魚市場事業特別会計	4,576万円	7億6,224万円	△7億1,648万円	△94.0%
企業(水道事業)会計	34億6,259万円	39億236万円	△4億3,977万円	△11.3%

- 一般会計  
市役所の基本的な仕事をする会計で、大部分がこの一般会計予算に含まれます。福祉や保健、生活環境、教育、消防、防災などに使うお金をまとめたものです。
- 特別会計  
一般会計とは切り離して特定の事業ごとに管理する予算です。保険税や使用料などの特定の収入で事業を実施します。負担と受益の関係が明確になるなどのメリットがあり、国民健康保険事業や下水道事業、魚市場事業など6つの特別会計を設けています。
- 企業会計  
民間企業のように原則として独立採算の予算です。むつ市では、水道事業がこれにあたります。

# 一般会計予算

328億6000万円  
(前年度比0.2%減)

平成29年度予算は財政の健全化を最重点事項に編成し、一般会計当初予算の総額は、前年度比で5400万円、0.2%減となる328億6000万円となりました。

## 歳入

歳入については、合併特例加算の縮小等による普通交付税の減少や電源立地地域対策交付金の減少がある一方で、市税やふるさと納税寄附金の増額が見込まれていますが、自主財源比率は約26%と乏しく、依然として依存財源に頼らざるを得ない財政状況となっております。

## 歳出

歳出については、少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増大や大畑診療所の不良債務の解消等多くの課題を抱える中で、全ての事務事業について既成概念や前例にとらわれることのないよう、引き続き財政の健全化に積極的に取り組んでいきます。

## 限られた中でも積極的に

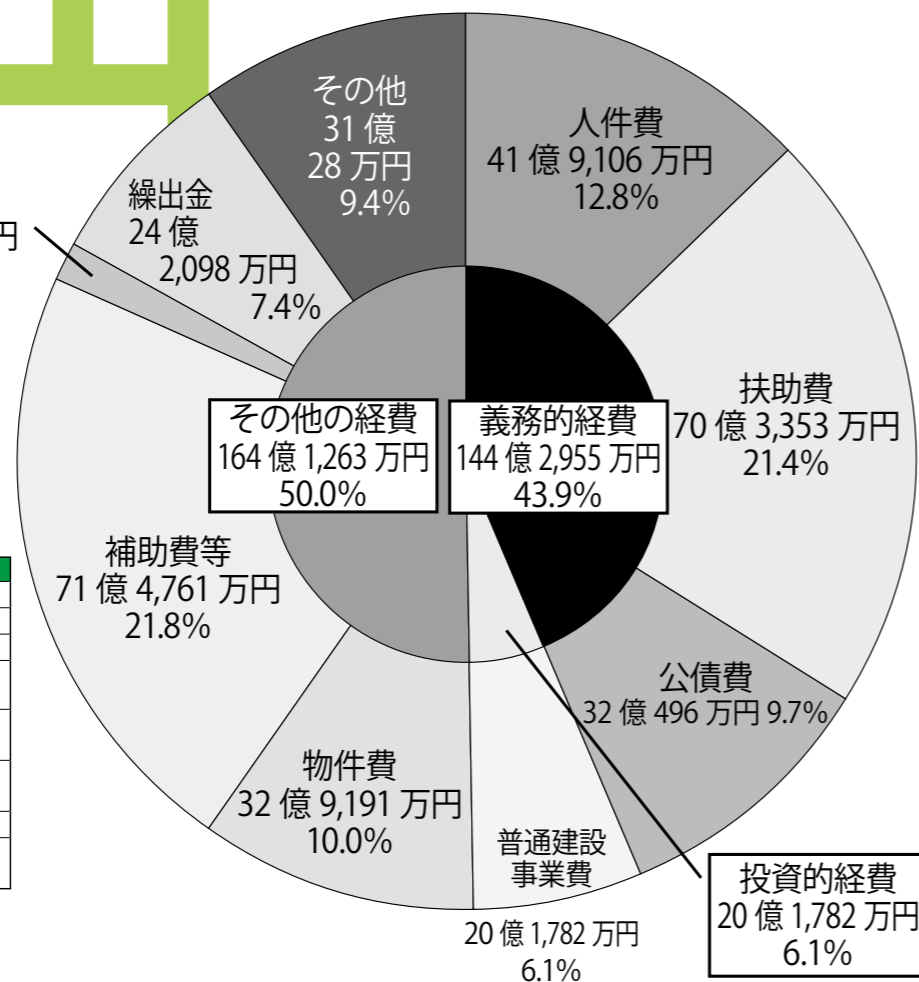
このような中、限られた財源を有効に活用し、本市の成長の礎を築くため、「むつ市総合経営計画」の基本方針に沿った「むつ市の成長戦略2017希望のまち実現に向けた5つの重点施策」として、「元氣」「暮らし」「教育」「安全」「魅力」の向上に繋がる施策を積極的に展開していきます。

また、6つの特別会計と企業会計(水道事業)についても決まりました。

今後も、財源の確保と効率的・効果的な予算執行に努め、将来世代に負担を先送りすることのないよう、引き続き財政の健全化に積極的に取り組んでいきます。

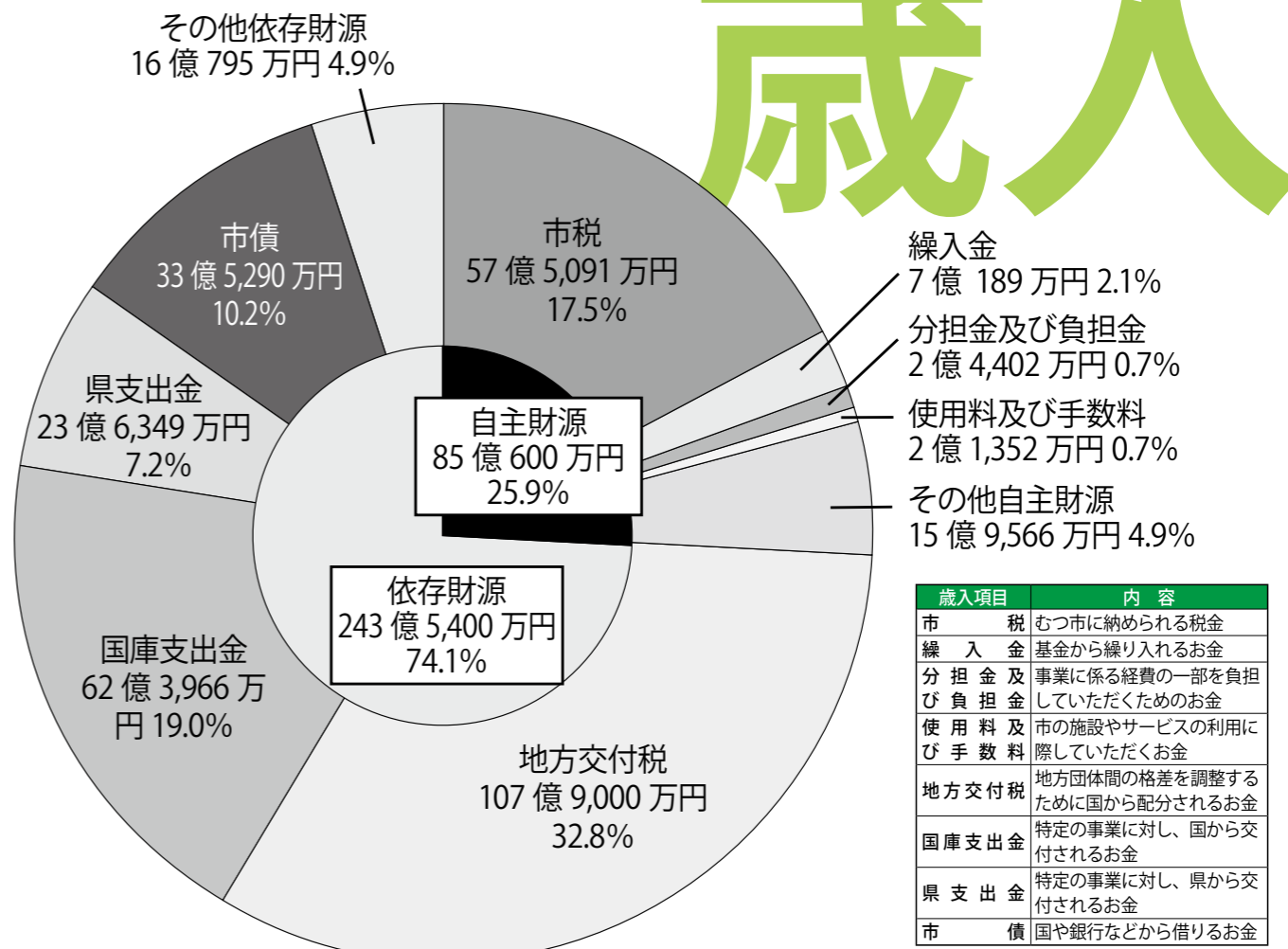
# 歳出

## 一般会計の内訳



歳出項目	内容
人件費	職員等の給料などの費用
扶助費	生活保護や障がい者の福祉などの費用
公債費	借入返済の費用
普通建設事業費	公共施設整備などの費用
物件費	光熱水費、消耗品および事務事業の委託費などの費用
補助費等	むつ総合病院などの一部事務組合に対する負担金、各種団体への補助金
維持補修費	施設を維持補修するための費用
繰出金	国保会計など、他の特別会計予算への支出

# 歳入



歳入項目	内容
市税	むつ市に納められる税金
繰入金	基金から繰り入れるお金
分担金及び負担金	事業に係る経費の一部を負担していただくためのお金
使用料及び手数料	市の施設やサービスの利用に際していただくお金
地方交付税	地方団体間の格差を調整するために国から配分されるお金
国庫支出金	特定の事業に対し、国から交付されるお金
県支出金	特定の事業に対し、県から交付されるお金
市債	国や銀行などから借りるお金